

二十歳の決意

坂本 光大



この度、二十歳を迎えるにあたり、これまで私を育ててくれた、大変厳格な父、父とは正反対で優しくいつも穏やかな母、いろいろな所へ連れて行ってくれた祖父、毎日毎日美味しい料理を作ってくれた祖母、その他にも親身にご指導いただいた恩師の先生方や地域の方々に深く感謝いたします。

私たちの高校時代は、全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響により、明けても暮れても、うがいや手洗いなどの感染対策、さらに常にマスクを着用していたため、3年間同じクラスでも、素顔を見ることもできない友人もありました。学校行事は、全て縮小や延期、中止となってしまう、様々な制限を受けて、常に我慢しながらの生活でした。

当時は自分中心で、自分目線でしか物事を判断できませんでしたが、今振り返ってみると、周りにはいつも私を温かく見守ってくれた家族がいました。どんなに反抗しても、いつも味方でいてくれました。友人とのトラブルの時にも、友人宅と一緒に頭を下げてくれた父の姿は、今でもハッキリと覚

えています。

私は現在、県外の大学で、医療関係の勉強をしています。高校時代とは違い、勉強やアルバイト、サークル活動など毎日充実しています。こんな恵まれた生活を送れるのも、家族の支えのお陰です。

今後の人生において、大きな目標があります。それは、人から必要とされる人間になることです。まだまだ、道は遠いですが、これまでお世話になった方々に恩返しするためにも、一生懸命努力を重ねていきたいと思います。そして、玉川村に生まれて育てていただいたことを誇りに、精一杯悔いのないように生きていきます。